# 認定こども園 移行基本計画

~竜王町にふさわしい認定こども園への移行整備~

竜王町教育委員会

令和3年4月

竜王町では長年にわたり町立幼稚園と民間保育園において、就学前の子どもの教育・保育を進めてきました。幼稚園の担う「教育」の部分と保育園の担う「保育」の部分で、保護者のニーズに対応しながら、また、時代の流れをくみ取りながら、その時々に必要な体制を整えつつ取り組んできました。

そのような状況の中、全国的な少子化や女性の社会参画が進み保護者の保育ニーズが高まるとともに、令和元年10月から始まった幼児教育・保育の無償化により、保育園の利用希望者が増加し、幼稚園の利用希望者が減少してきています。町内全体の就学前の幼児数(年間出生数)の減少も進み、町立幼稚園では数年前から単学級化も進んできている状況にあり子どもがお互いに関わりながら遊び、学びあうことのできる集団規模を維持することが難しくなっています。

こうした中、町としてこれからの幼児教育・保育を一層充実していくためには、現在の町立幼稚園をどのようにしていくとよいのか、早急に検討していかなくてはならないという課題に直面しています。

そこで、令和2年4月に教育委員会事務局 教育総務課内に「こども園準備室」を設置し 今後の幼児教育保育施設のあり方を整理し、様々な観点から検討してきました。さらに、令 和3年1月には就学前のお子さんがおられる保護者の皆さんや地域の皆さんを対象に町立幼 稚園の今後のあり方にかかる意見交換会、2月には就学前のお子さんがおられる保護者の皆 さんを対象に、竜王町立幼稚園の認定こども園への移行に向けてのアンケート調査を実施し ました。併せて、様々な立場で子育て世代と関わりが深かったり、地域の中でご活躍いただ いたりしている方々との意見交換の場をもち率直な意見をいただく中で、竜王町にふさわし い就学前教育保育施設のあり方について協議を重ねてきました。

以上のことを踏まえ、町立幼稚園を町立認定こども園に移行し、今後の町立の就学前教育 保育施設のあり方と方向性を示した「移行基本計画」を策定しました。

> 令和3年4月 竜王町教育委員会

1.	竜王町立幼稚園の認定こども園への移行に向けて	•	•	•		P 1
2.	「竜王町立竜王こども園」の開園に向けての10の基本方針	•	•	•		P 6
3.	認定こども園の開園に向けた方向性	•		•	• •	P 7
4.	認定こども園の具体的な体制と運営		•	•		P10
5.	町立認定こども園の4大特長	•	•	•	• •	P 20
6.	今後の予定	•	•	•		P 23
7.	その他の意見・要望に対する対応や考え方	•				P 25

### (1) 幼児教育の重要性

幼児教育は、子どもの基本的な生活習慣や態度を育て、道徳性の芽生えを培い、学習意欲や態度の基礎となる好奇心や探求心を養い、創造性を豊かにするなど、小学校以降における生きる力の基礎や生涯にわたる人間形成の基礎を培う上で重要な役割を担っている。

幼児期の特性を踏まえ、環境(身近な人や物、事柄など)を通して教育・保育を行う。幼児が身近な環境に主体的に関わり、関わり方や意味に気付き、これらを取り込もうとして、試行錯誤したり考えたりするようになるために、教師は幼児とともにより良い教育環境を創造するように努めている。

幼児教育で育みたい資質・能力は小学校以降の学習の基礎につながる「学びの基礎」となるものであり、幼児の自発的な活動である遊びや生活の中で、美しさを感じたり、不思議さに気付いたり、できるようになったことが自信や意欲につながったりし、試したり、いろいろな方法を工夫したりすることを通して育むために様々な教育・保育の取組を進めていく必要がある。園の教育を通して幼児期に育つことが期待される心情・意欲・態度などを育むために、幼稚園教育要領に示されている「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を意識して、毎日の教育・保育の内容を工夫し、家庭との連携も丁寧に行いながら取り組んでいる。

### (2) 竜王町で取り組む家庭教育のあり方と子育て家庭を支える体制

- ・家庭の教育力の向上をめざし、子育ての喜びや楽しさに気付くとともに、しんどさや困りを共有しながら、**親子の愛着関係の形成**と、親と子が共**に育ちあえる機会をもつ**ため、子育て講演会や研修の場を確保する。(各園における研修機会の充実)
- ・家庭との連携を大切にし、園と家庭がともに子どもの教育・保育に携わり協力しあうことで子 ども自身の自己肯定感や意欲の向上につなげる。
- ・保護者や地域の子育て力が高まるよう、子育てに関する相談活動や親子の集いの場を設けるなど、地域に開かれた子育で支援の充実を図るとともに、祖父母や地域による子育で家庭への支援の取組を推進する。

### (3) 町立幼稚園の現状と課題

#### 【現状】

- ・通年預かり保育の利用割合が年々増加。
- ・入園児数の減少が進んでいる。10年間で園児数が約半数になった。(今後、各園で1クラスが10人未満になる可能性もある。)
- ・通学自動車(スクールバス)の利用者数は、預かり保育利用人数の増加に伴い減少してきている。

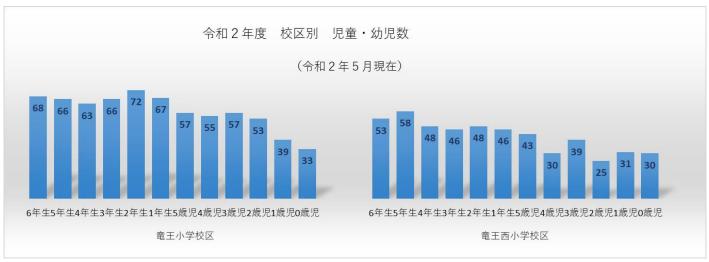
#### 【課題】

- ・預かり保育の実施期間や保育時間の拡充を進めているが、更なる充実を望む保護者の声も多い。 現状のままでは、多様な保護者のニーズに対応することは難しい。
- ・園児数の減少により、日々の教育・保育活動において集団としての取組が難しい部分がある。 就学前には、より多くの仲間と関わりながら活動を進めていくことが重要になってくるが、単学 級・少人数では十分な経験の保障が難しい。園外活動や行事等の見直しも必要になる。





### (4) 竜王町の児童・幼児数の推移(令和2年5月1日 現在)



### 【竜王小学校区】

山中・岡屋・さくら団地・小口・松が丘・薬師・橋本・弓削・信濃・庄・林・川上 駕輿丁・島・綾戸・田中・川守・岩井・東出・西出・新村・西山

単位:人

6 年生	5 年生	4 年生	3年生	2年生	1 年生	5 歳児	4 歳児	3 歳児	2 歳児	1 歳児	0 歳児	R2 出生 見込み
68	66	63	66	72	67	57	55	57	53	39	33	44

#### 【竜王西小学校区】

鏡・松陽台・美松台・山面・西横関・西川・須恵・鵜川・七里・希望が丘

6 年生	5年生	4年生	3年生	2 年生	1 年生	5 歳児	4 歳児	3 歳児	2 歳児	1歳児	0 歳児	R2 出生 見込み
53	58	48	46	48	46	43	30	39	25	31	30	30

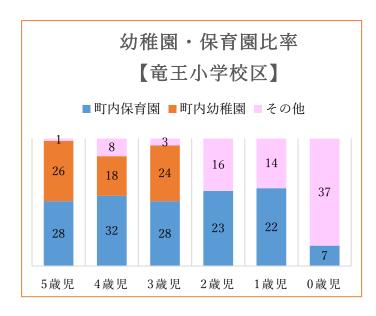
### 【合 計】

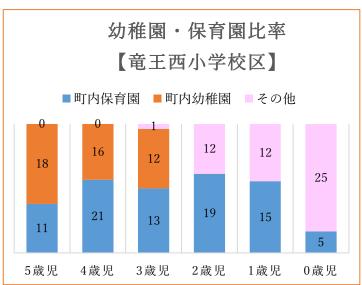
6 年生	5 年生	4 年生	3年生	2 年生	1 年生	5 歳児	4 歳児	3 歳児	2 歳児	1 歳児	0 歳児	R2 出生 見込み
121	124	111	112	120	113	100	85	96	78	70	63	74



R2年出生見込みは、令和3年 1月現在母子手帳交付数に基 づく

# (5) 令和3年度 幼稚園・保育園の入園比率(令和3年1月現在の予定)





### 《幼児期に望ましい集団としての適正規模と発達の姿》

学 年	1 学級の 適正人数	発達の特性・発達段階に応じた経験
3 歳児	15 人~ 20 人	<ul><li>○基本的な生活習慣を身につけることが優先される。</li><li>○安心できる大人(教師や保護者)のそばで、自分のやりたい遊びを楽しむ。</li><li>○同じ場で、その場の雰囲気を共有したり、まねて遊ぶことが楽しいと感じたりできる経験が大切である。</li></ul>
4 歳児	20 人~ 25 人	<ul><li>○友だち関係が徐々に広がり、集団を形成して生活できるようになっていく時期。</li><li>○友だちと互いの思いや意見を出し合いながら遊ぶことが楽しいと感じられるようになる。</li><li>○遊びを共有し、人と関わることが楽しめるようになる。</li></ul>
5 歳児	20 人~ 30 人	<ul> <li>○友だちと好きな遊びを進めようとする。</li> <li>○ルールのある集団遊びを楽しむようになり、友だちの刺激を受け繰り返し取り組んだり、チャレンジしたりする意欲が高まる。</li> <li>○自分の気持ちを言葉で表現し友だちの思いも受け止められるようになり、遊びの目的を友だちと達成しようとする。</li> <li>○学級やグループでの活動を通して、共通の課題に力を合わせて取り組む経験が大切である。</li> </ul>

(文部科学省 調査研究資料 参照)



# (6)認定こども園とは

☆認定こども園とは、幼稚園と保育園の2つの性質を併せ持った施設です。 就学前の子どもに対して、教育・保育を一体的に捉え、幼児教育・保育を 提供する機能と地域における子育て支援を行う機能を併せ持っています。

	【認定こども園の種類】						
幼保連携型	幼稚園的機能と保育所的機能の両方を 併せ持つ単一の施設として、認定こど も園の機能を果たすタイプ						
幼稚園型	認可幼稚園が、保育が必要な子どもの ための保育時間を確保するなど、保育 所的な機能を備えることで認定こども 園としての機能を果たすタイプ						
保育所型	認可保育所が、保育が必要な子ども以外の子どもも受け入れるなど、幼稚園 的な機能を備えることで認定こども園 としての機能を果たすタイプ						
地域裁量型	幼稚園・保育所いずれの認可もない地域の教育・保育施設が、認定こども園として必要な機能を果たすタイプ						



- 1号認定…3歳児~5歳児で1日概ね4時間の教育標準時間認定
- 2号認定…3歳児~5歳児で保育の必要性がある(保育認定)
- 3号認定…0歳児~2歳児で保育の必要性がある(保育認定)

### (7) 認定こども園移行に伴う効果

- ○今までの幼稚園の預かり保育の体制よりも保育時間等が拡充され、保育の必要性がある家庭にとって は、より利用しやすくなる。
- 〇保護者の状況に合わせて、年度途中で教育標準時間認定と保育時間認定の移動があっても、子どもの転 園がないことで環境変化が少なく、安心して子どもを預けることができる。
- 〇就学前教育・保育を一体的に受けることができる。(幼児教育環境の充実)
- ○就労の状況に合わせて入園の形態を選択できる。
- ○園児数の確保につながり、集団生活の中で豊かな経験を積み重ねることができる。
- ○多くの人との関わりができ、町域でのネットワークの広がりも期待できる。

- (1) 3・4・5歳児を対象とした「幼稚園型認定こども園」の開園
- (2) 両幼稚園を一つにして「竜王町立竜王こども園」の開園
- (3) 教育・保育時間は、7時 30 分~18時 00 分
- (4)スクールバス(通園自動車)の運行
- (5)長期休業中の給食の提供
- (6) 現在の竜王幼稚園の園舎を活用
- (7) 子育て家庭への支援やアドバイスの拠点となる認定こども園の開園
- (8) 小学校区別に小学校との連携・交流の充実
- (9) 町立認定こども園の4大特長
  - 1一人ひとりの園児への手厚い指導と支援
  - 2豊かな環境の中で育む情操教育の充実
  - ③小学校・中学校へつながる英語教育の取組
  - ④小学校以降の学習につながる「学びの基礎」の育成 ~徹底反復学習の理念に基づく保育の充実~
- (10) 令和4年4月1日開園

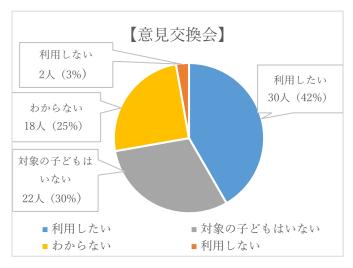
(令和3年10月1日から募集開始)

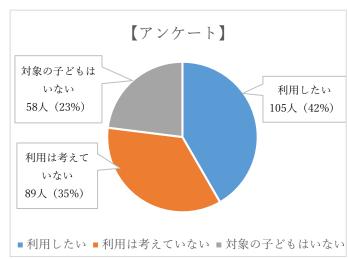
### (1)3・4・5歳児を対象とした「幼稚園型認定こども園」の開園

\*令和3年1月に実施した意見交換会、2月に実施したアンケート調査の結果は下記のグラフのとおりであり、認定こども園の利用意向が4割強あることがわかる。また、様々な立場の方々と行ってきた協議会や意見交換の場でも、子どものことを中心に据えて考えると、認定こども園に移行していくことが重要であるとのご意見をいただいている。

参考資料:意見交換会、アンケート結果

「認定こども園の利用意向」



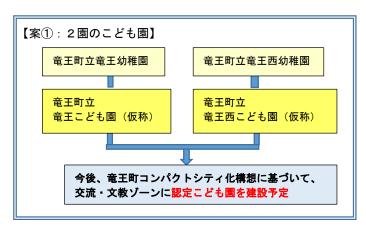


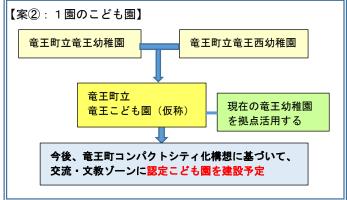
- \*認定こども園への移行については、令和2年7月から 10 月にかけて民間保育園(育新会)と 意見交換や協議を行ってきた。その中で、民間保育園としては、公立と民間との共存共栄を強く 希望されており、「移行基本計画が3歳児以上を対象としていることが保育園の経営については大 変ありがたい。」という前向きな意見をいただいている。
  - \*以上のことから、町内の民間保育園(育新会)との共存共栄に配慮しつつ、現在まで築いてきた竜王町の幼稚園教育を継続しながら、より保護者の二一ズに対応できる保育機能を備えることで認定こども園としての機能を果たしていける幼稚園型認定こども園(3・4・5歳児を対象)として体制を整える。

### (2) 両幼稚園を一つにして「竜王町立竜王こども園」の開園

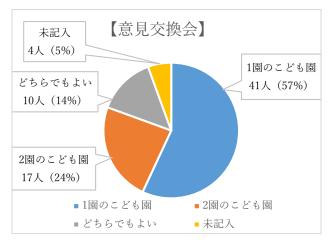
#### 参考資料:意見交換会、アンケート結果

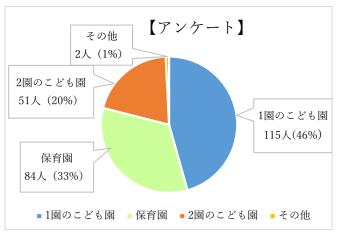
「町立幼稚園を認定こども園に移行する場合、希望する就学前教育保育施設の体制」





令和 3 年 1 月に意見交換会を 4 回(竜王幼稚園 2 回、竜王西幼稚園 2 回)、 2 月にはアンケート調査(対象者約 400 件)を実施。





- \*1 園化に対する賛成意向は約5割程度となっており、賛成の主な意見としては下記のとおりである。 〈主な意見〉
  - ・学びの集団を確保するためにも1園の移行に賛成。
  - ・いずれ園舎ができるのであれば1園になるので、早い段階で1園化しておくほうがよいと思う。 メリットを考えると子どもたちに大きく影響があると思う。
  - •1 園化で体制を充実させるのが良い。ゆとりある教職員の配置、スクールバスの運行、一時預かり保育、竜王町の自然を活かした幼児教育・保育に取り組むなどの体制が充実したこども園に通わせたい。
  - ・幼稚園が統合されると送迎は遠くなるが、園児数が増えてたくさんの友だちと遊んだり学ぶ時間が増えることで大切な3年間を過ごすことができると思う。登園・降園時刻も各家庭・仕事の都合に合わせて選択肢が多く利用しやすいと思う。
  - ・1 園化で親の負担が大きいことは辛いが、子どもたちが笑顔になればよいと思う。

\* 2園化に対しては約2割の希望がある。2園化に対する主な意見と課題の集約としては下記の とおりである。

#### 〈主な意見〉

- ・慣れ親しんだ園舎や友だちと卒園まで通わせたい。途中で園が変わると子どもも不安になる。
- ・8時からの教育・保育時間だと仕事に間に合わないので、あと30分早く預けられるようにし てほしい。

#### 〈課題の集約〉

- ①幼稚園在園中に1園化されることで、園を変わることに対する不安感
- ②教育・保育時間が8時からでは、朝、仕事に間に合わない
- ③認定こども園までの通園距離が遠くなる

#### \*上記3点への対応として

#### ①令和3年度の1年間をかけて、竜王幼稚園と竜王西幼稚園との交流を実施する。

- ・新しい場所や友だち、先生を知り、園が変わっても楽しいことがいっぱいあることで安心で きるようにしていく。一緒に園外保育に出かけたり、行事を実施したり、普段の遊びを経験 したりするなど内容を工夫する。
- ・園の行き来にはスクールバスを活用したり、園周辺の環境にも慣れられるように徒歩で出か けられる場所には一緒に歩いて行ったりするなど配慮していく。
- ・保護者参加の行事やちびっこ幼稚園などを合同で実施するなど、保護者の方にも竜王幼稚園 や周辺環境を知っていただく機会をもつ。

#### 両幼稚園における交流活動の予定(案)

- (子どもの交流) ・園外保育(妹背の里・希望ヶ丘 等:5月から、学年別及び異年齢)
  - ・体験活動(地域の方との体験活動・園舎周辺での散歩 等:5月から、学年別及び異年齢)
  - ・通常保育の中での交流活動(園内で、季節の遊びを一緒に楽しむ:年間を通じて随時)
  - ・預かり保育時間での交流(長期休業中を活用して一緒に遊ぶ)

- (保護者の交流) ・ちびっこ幼稚園の合同実施(年間約10回開催)
  - ・親子遠足の合同開催
  - ・子育て井戸端会議(サークル活動)の合同開催

#### ②教育・保育時間は7時30分から18時00分までとする。

・保護者の利用希望時間帯を考慮して教育・保育時間を設定する。 (詳細については、「3. 認定こども園の具体的な体制と運営」において説明)

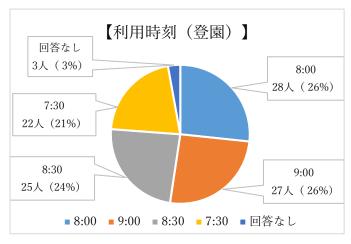
#### ③スクールバス(通園自動車)を運行し、スクールバスの利用意向に対応する。

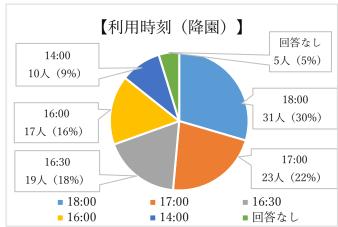
- ・9時登園、14時降園を基本として調整を行い、スクールバスを運行する。 (詳細については、「3. 認定こども園の具体的な体制と運営」において説明)
- \*以上のように様々な意見や要望にできる限りの対応をしていくことを前提に、幼児期に ふさわしい集団を形成し豊かな経験の保障をしていくために、竜王幼稚園・竜王西幼稚 園を一つにして、1園の認定こども園として開園する。

### (1)教育・保育時間は、7時30分~18時00分

#### 参考資料:アンケート結果

「希望する利用時間帯」





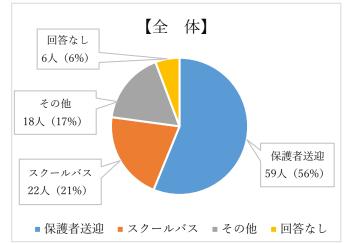
#### 参考資料:意見交換会・アンケートの主な意見

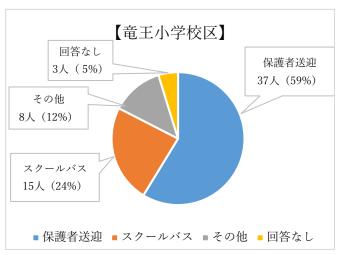
- ・2園の幼稚園を1園にして、保育時間を延ばしてほしい。働く場合に勤務先が町外であると通 勤に時間がかかる。
- ・フルタイムで働きながら幼稚園教育を受けさせられる認定こども園に移行されるのは大変ありがたい。8時からの受入れでは仕事に間に合わないので、あと30分早く預けられるようにしてほしい。
- \*意見交換会、アンケート調査の意見では、当初検討していた8時から18時の時間帯では「仕事に間に合わないため受け入れ時刻を早めてほしい。」という声も多く、できる限り要望に応えられるよう協議を進めてきた。民間保育園との兼ね合いも含めて検討し、7時30分から18時の教育・保育時間での実施とする。

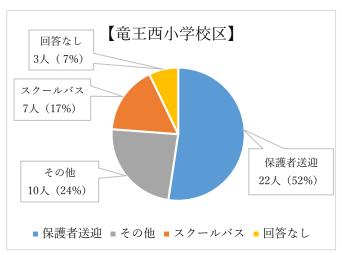
### (2) スクールバス(通園自動車)の運行

参考資料:アンケート結果

「希望する通園方法」







#### 参考資料:意見交換会・アンケートの主な意見

- ・西小学校区からは通園距離が遠くなり不便を感じる。スクールバスは無くさないでほしい。
- ・通園方法はスクールバスと保護者送迎を選べるようにしてほしい。1号認定(9時から14時) で利用する場合は、スクールバスを利用できるようにしてほしい。
- 1園のこども園に移行するデメリット(通園距離が遠くなる)には、スクールバスの運行で対応できると思う。
- ・駐車場が確保できるのであれば、利用時間も様々になるので保護者送迎でよい。
- ・決まった時間(運行時刻表)のみ、スクールバスで登降園。それ以外は保護者送迎でよい。
  - \*2園の幼稚園を1園の認定こども園に移行することにより、特に西小学校区からの通園が 遠くなるためスクールバスの運行を希望する声も一定あることから、認定こども園に移行 後も、<mark>運行時間帯を9時登園・14時降園を基本としてスクールバスの運行を調整</mark>する。そ れ以外の時間帯については、小学校の運行時間帯との兼ね合いや個々様々な登降園時刻に 対応することは困難なため、保護者送迎とする。
  - \*保護者送迎に対応できるための駐車場の確保については、令和3年1月に拡張整備工事が完了し、今まで以上の駐車が可能となっている。(約40台)

### (3)長期休業中も開園、給食の提供

\*長期休業中の給食については、栄養面にも配慮した内容を希望する意見も多く、できる限り要望に応えられるよう協議を進めてきた。学校給食センターは、小学校・中学校も含めた 1,000人規模の給食提供が前提となる施設であることと、長期休業中を利用して様々な器具や機械、施設の点検整備が必要であることから、長期休業中の稼働は困難な状況である。

(近隣市町においても、給食センターでの長期休業中の給食提供はされていない。近くの保育 園やこども園など自園調理可能な施設からの配送により対応されているケースはある。)

\*そのような中、町内の事業所に理解と協力をお願いし、町内産の野菜等を使った栄養的にも配慮された安心でおいしい給食(手作りのお弁当等)の提供に努める。







### (4) 現在の竜王幼稚園の園舎を活用

- \*町内の町立幼稚園、民間保育園の立地バランスや園舎の規模等から現在の竜王町立竜王幼稚園の園舎を活用して、認定こども園を開園する。
- \*恵まれた自然環境や、隣接する公共施設(竜王小学校・町立図書館・竜王町公民館・妹背の里) や福祉施設、商業施設、苗村神社などを日々の保育に最大限に活用し、町立の就学前教育保育施 設として更に充実した教育・保育を推進する。





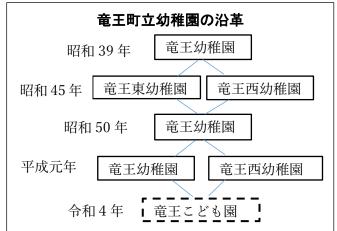
### 竜王町立竜王幼稚園の概要

#### 【所在地】

- ・蒲生郡竜王町大字綾戸 250 番地 【施設の整備状況】
  - ・昭和50年4月 現在地において開園
  - 平成 2年8月 大規模改修
  - ・平成 13 年 2 月 園庭拡張造成工事 駐車場造成工事
  - ・平成27年8月 トイレ改修工事
  - 令和 3年1月 駐車場拡張整備工事

#### 【施設状況】

- ・保育室 9部屋
- ·遊戱室 保健室 絵本室 各1部屋
- ・プール
- ・その他 管理棟



### 竜王幼稚園を取り巻く環境

# 園庭















園舎周辺環境









### (5)子育て家庭への支援やアドバイスの拠点となる認定こども園の開園

### \*子育て支援の充実

地域における子育で支援を行う機能を整え、認定こども園や保育園に入園していないお子さんとその保護者に対して、子育で相談に応じたり親子の集える場を提供したりする「子育で支援事業」を実施する。

地域における子育て支援の拠点として、今まで両幼稚園で実施してきた「ちびっこ幼稚園」「子育て相談日」「子育て井戸端会議(サークル活動・ボランティア活動など)」の更なる充実を図る。

ちびっこ幼稚園





子育て井戸端会議 (ボランティア活動)







子育て相談日



子育て井戸端会議(サークル活動)



#### \*家庭教育の充実

家庭の教育力の向上をめざし、保護者が子育ての喜びや楽しさに気付くとともに、子育ての しんどさや困り感を共有しながら、親子の愛着の形成と親と子が共に育ちあ える機会の充実を図る。

幼児期だからこそ重要である親子の関わりや家庭の役割、子どもの発達について学ぶ機会をもつ。

# 子育て講演会・人権研修会等







# 親子体操教室 等







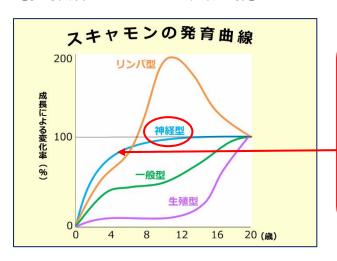




#### 幼児期に重要な「体の基礎作り」のために

・神経型機能の発達が目覚ましい幼児期に十分に体を動かして遊ぶことで、生涯にわたってた くましく生きるための健康や体力の基礎を培う。いろいろな運動遊びや触れ合い遊びを親子 で楽しむことが、子どもたちの身体的な発達だけでなく安定した情緒にもつながっていく。 小学校入学までに様々な体を使った遊びを経験することが大変重要である。

#### 【参考資料:スキャモンの発育曲線】

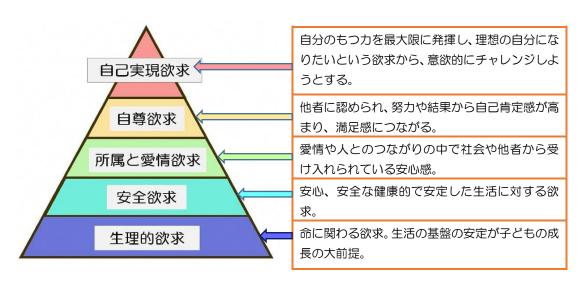


神経型はリズム感や体の器用さを担う。出生直後から急激に発達し4・5 歳頃までに成人の80%にも達する。 この時期は神経型の発達がめざましく、様々な神経回路が形成されていく 大変重要な時期であり、一度身につく となかなか消えるものではない。

#### 幼児期に重要な「心の基礎作り」のために

・幼児期に安心できる温かな親子の触れ合いは、生涯にわたる人格形成の基礎となり、自分の 良さや可能性を伸ばし豊かに成長していくために大変重要である。発達過程の中で生まれて くる様々な欲求を親子のかかわりの中で満たされていくことが、人との関わりや社会とのつ ながりの中で豊かにたくましく生きる力につながっていく。

#### 【参考資料:マズローの欲求5段階説】



### (6) 小学校区別に小学校との連携・交流の充実

- \*認定こども園から小学校への滑らかな接続のために、竜王小学校・竜王西小学校との丁寧な連携と交流の充実を図る。子どもたちが安心して、楽しみに入学を迎え、認定こども園での生活や学びが小学校生活にしっかりとつながっていくために、園児・児童の交流だけでなく教師同士の連携も密に行っていく。
- \*小学校入学時には、3年間一緒に過ごした友だちと離れる場合があることと保育園や他市町からの入学児童もいることから、環境の変化に戸惑いや不安を感じる子どもたちへの丁寧な配慮と小学校への引継ぎを行う。
- \*西小学校との交流はスクールバスを活用し、園児・児童の交流や園児のみが小学校を訪れ小学校の様子を知る機会(運動場で遊ぶ・学校探検をする など)をもち、子どもたちの安心感につなげていく。
- \*認定こども園と小学校で子どもの育ちについて共通理解を図り、**学びの連続性を意識した「ア** プローチカリキュラム」と「スタートカリキュラム」による取組を一層推進する。

アプローチカリキュラム:卒園を前にしたおおむね1月~3月の期間において、子どもた

ちの育ちを確認しながら、小学校での生活や学習を意識した保

育を展開するためのプログラム。発達や学びの連続性を踏まえ

小学校教育との円滑な接続を図る。

スタートカリキュラム : 新入学児童の入学直後約1か月間において、児童が幼児期に体

験してきた遊びの要素と小学校生活の中心をなす教科学習の要

素を組み合わせた、合科的・関連的な学習プログラム。

### 参考資料:意見交換会・アンケートの主な意見

- ・1 園の認定こども園から 2 校の小学校に別れることで、認定こども園で築いてきた人間関係も変わり子どもたちの不安につながるのではないか。しかし、子どもたちにとって環境が変わりながら人間関係や視野が広がることで、よりたくましく成長していけるメリットもある。
- ・幼稚園の隣に小学校がある環境は、子どもたちが安心して小学校入学を迎えらえるので良いと思ってきた。西小学校は遠くなることで今までのような交流ができるのか心配。交流はしっかりとしてほしい。
- ・小学校入学時に、子どもが別々の小学校に行くのは他の市町ではよくあること。スポ少で出会ったり中学校で再開したり、良い経験になると思う。考えようで良くも悪くもなると思う。

### 竜王幼稚園と竜王小学校 5・5交流 5・1交流









竜王西幼稚園と竜王西小学校 5・5交流 5・1交流









### ① 一人ひとりの園児への手厚い指導と支援

\*個々の子どもに寄り添いながら、集団の中で一人ひとりの育ちにつなげるための教育・保育を進める。また、配慮の必要な子どもや支援を要する子どもには、関係機関と密接に連携しながらより良い育ちをめざして適切な支援と指導を行う。3歳児一人ひとりへの丁寧な対応のための低年齢児加配や支援を要する子どもへの適切な対応のための特別支援加配を配置するとともに、発達に応じた学級編制のため1クラスの定員(3歳児20名、4・5歳児30名)を定めるなど、きめ細やかな指導の充実に努める。

\*必要な職員を適正に配置し、長時間の教育・保育を安全安心を第一に進める。









### ② 豊かな環境の中で育む情操教育の充実

\*広い園庭や園舎周辺の豊かな自然環境の中のびのびと活動し、様々な体験活動を通して子どもの興味関心や意欲を育て、自立心や主体性を育み、生きる力の基礎を培う教育を推進する。動植物と関わったり触れたりしながら豊かな心と愛情を育むとともに生命の尊さや重みを知る機会を大切にする。









\*妹背の里や、町立図書館、竜王町公民館、商業施設、福祉施設、神社等に出かけ、様々な環境 (ひと・もの・こと)と関わり遊びや生活の中で豊かな体験につなげる。身近な自然や文化に 触れ、親しみを感じ、豊かな感性や安定した心の育ちを大切にする。







\*発達に応じた集団での生活や遊びの中で友だちと関わり、社会のルールやマナーを知り、遊び を通して道徳性や規範意識を育てていく。







\*園運営協議会を核にコミュニティ・スクールとして、温かい地域の皆様に支えられながら地域に根差した認定こども園として、地域とともに歩む園づくりに努める。







\*絵本の読み聞かせの機会を大切にし、発達段階や季節、行事等に応じて昔話や創作童話などを 幅広く選定することにより、子どもたちの想像力や発想力、理解力、言葉の習得、豊かな感性 を育む。町立図書館との連携や、様々な関係機関との連携によるお話会の機会も活用していく。







# ③ 小学校・中学校へつながる英語教育の取組

- \*遊びや生活の中でネイティブスピーカーと英語に触れ合う体験に継続して取り組んでいく。歌や手遊び、絵本などを活用しながら楽しんで英語に触れ合い、小学校・中学校と同じALTの 先生に指導してもらうことにより、小学校以降の英語教育につないでいく。
- \*「英語で遊ぼう」(年回 10 回実施)の体験が他の国の言葉や文化に興味をもつきっかけとなり、 様々な国や地域があり様々な人々がいることを知り、子どもたちの興味関心や違いを認め合う 心の教育が広がっていくよう努める。

幼稚園 「英語で遊ぼう」



スー・セー・マリー市 から来園









小学校 英語の授業

### ④ 小学校以降の学習につながる「学びの基礎」の育成

\*平成30年度から、町内小学校で取り組んでいる徹底反復学習(竜王チャレンジタイム)の理念を踏まえた教育・保育を日々の実践に取り入れる。幼児期に必要な様々な体験を通して、「遊びこむ・遊びきる」をキーワードに、子どもたちが遊びの中でより多くの友だちとの関わりや安心できる大人(教師)のそばでじっくり・繰り返し活動することにより、学びに向かう力を育み、小学校以降の系統的な学習の基礎を培う。







\*とん・ぺた・ぴん(立腰)の実践を進め、発達に応じた集中力や持続力を育て、小学校以降の 学習につながる意欲や態度を育てる。



幼稚園 「とん・ぺた・ぴん」









小学校 徹底反復学習の様子

\*認定こども園と小学校との連携を丁寧に行い、滑らかな接続を意識しながら小学校との相互理解に努める。







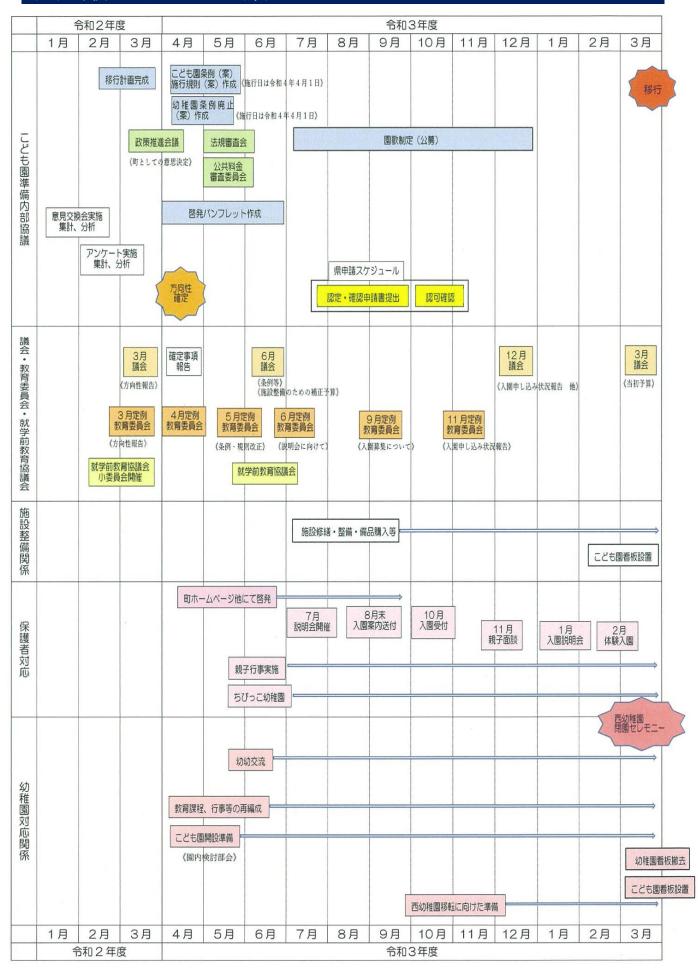
幼小職員合同研修の様子

# 6. 今後の予定

# (1)令和4年4月1日 開園

- \*様々な状況を整え、令和4年4月1日に認定こども園として開園する。
- \*入園募集は令和3年10月からとなることから、できるだけ多くの方に理解してもらえるよう説明会の開催や、資料(リーフレット)の配布などを積極的に進める。

# (2)今後のスケジュール(案)



意 見	対 応
・認定こども園が1園化された場合、将	・本移行基本計画(案)では、あくまでも町立幼稚園の今
来的に小学校も統合される可能性はあ	後のあり方についての方向性を検討しているものです。小
りますか。	学校については別途検討しています。2校の小学校は、そ
	れぞれの地域の防災・コミュニティ等の拠点であり、地域
	のシンボル的存在であることから今後も2校を継続して
	いきます。10年後には竜王西小学校の長寿命化改修も考え
	ています。また、竜王小学校はコンパクトシティ化構想の
	中で移転新築を考えています。
・認定こども園に移行されるのであれ	・現在検討している認定こども園は現在の幼稚園の施設を
ば、幼保連携型で0歳児から受け入れら	活用して実施していきます。今後コンパクトシティ化構想
れる体制を整えてほしい。すぐには無理	の交流・文教ゾーンに建設予定の認定こども園について
でも、将来的な見通しの中で示してほし	は、子育て世代や地域の皆様の願いを聞かせていただき参
L',	考にしながら、竜王町にとってふさわしい認定こども園の
	体制を検討していきます。そのため、今後も継続して町内
	の民間保育園(育新会)との協議も進めます。
<ul><li>PTA活動がどのようになっていくの</li></ul>	・両幼稚園の今までの取組を参考にしながら、子どもたち
か。働く保護者と家庭にいる保護者との	のために、また保護者のためにどのような活動が良いのか
負担感の違いもある。働いていると平日	考えていきます。PTA活動は保護者同士のつながりの中
の昼間の活動は参加しにくい。	で保護者自身が互いに学びあう場でもありますが、負担感
	にも配慮していく必要があります。今後のもち方について
	は、役員の皆さんとともにしっかりと検討していきます。

◎1月実施の意見交換会、2月実施のアンケートのどちらの意見も同じような内容であり、まとめて記載しています。

	事務局協議	教育長協議	町長協議	議会·教育委員会 就学前教育協議会	育新会・幼稚園
4 月	【7日】 ・認定こども園への移行に向けて	【16 日】 ・県内認定こども園設置状況について ・町内就学前児童の就園状況について ・認定こども園への移行に向けて			
5 月	【14日】 ・教育長協議(第1回・第2回)の進捗 状況から ・県、近隣市町聞き取り状況について ・認定こども園への移行に向けて ・移行に向けた基本方針と移行原案に ついて ・移行を見通した幼稚園の取組について	【14日】 ・県、近隣市町聞き取り状況について ・認定こども園への移行について ・基本方針と移行原案について *移行スケジュール(R2 年度分確認)			【22 日】 幼稚園 ・認定こども園への移 行に向けて ・移行に向けた基本方 針と移行原案について ・移行を見通した今後 の幼稚園の取組に ついて
6 月	【16日】 ・移行計画書(原案)について	<ul><li>【24 日】</li><li>・移行計画書(原案)について</li><li>・課題の対応について</li><li>・Q&amp;A シートについて</li><li>・スケジュールの確認</li><li>・予算編成に向けて</li></ul>			
7 月	【9日】 ・移行計画書修正案について 【30日】 ・町長協議を受けて、今後に向けての方向性について検討	【13 日】 ・移行計画書(原案)について 【31 日】 ・庁内検討会議の報告 ・今後の方向性について	【20日】 ・認定こども園移行基 本計画(案)につい て		【14 日】 育新会 竜王西幼稚園 ・移行基本計画(案) 説明 ・意見交換 【15 日】 竜王幼稚園 ・移行基本計画(案) 説明
8 月		【4日】 ・認定こども園移行基本計画(修正案) 確認	【6日】 ・認定こども園移行基本計画(修正案)について	【25日】 定例教育委員会 ・認定こども園移行基 本計画(案)につい て	7
9 月	【2日】 ・9月9日教育民生常任委員会での提案 に向けて、調整 ・Q&Aシートについて確認	【7日】 ・事務局協議の報告		【9日】 議会 教育民生常任 委員会 ・認定こども園移行基 本計画(案)について 【29日】 定例教育委員会 ・こども園移行基本計画(案)について	
10 月	【8日】 ・教育民生常任委員会、定例教育委員会のまとめと今後の方向性に向けて・アンケート(案)・今後のスケジュール 【14日・15日】・アンケート(案)について内容の検討・今後の流れについて確認 【28日】 ・関係機関との協議の進捗状況について	【1日】 ・定例教育委員会での協議内容について 【13日】 ・事務局協議の報告 【20日】 ・事務局協議の報告 ・アンケート(案)確認 ・スケジュール調整 【28日】 ・事務局協議の報告	【28日】 ・認定こども園移行基本計画(案)の進捗 状況報告と今後の 進め方について	【23 日】 就学前教育協議会 ・認定こども園 移行 基本計画(案)について ・意見交流、協議 【27 日】 就学前教育協議会 小委員会① ・「認定こども園 移行基本計画(案)」	【16日】 育新会、幼稚園 ・認定こども園移行基本計画(案)について 【27日】(別紙) 育新会 ・「これからの竜王町のより良い就学前 教育保育のあり方について」

	・アンケート(案)について			についての協議 ・アンケート (案) に ついて協議 【30日】	
				定例教育委員会 · 進捗状況報告	
11 月	<ul><li>【13 日】</li><li>・今後の進め方について</li><li>・説明会開催に向けて内容検討</li><li>【19 日】</li></ul>	【17 日】 ・事務局協議の報告 ・説明会に向けての検討	【25 日】 ・認定こども園移行に 向けた意見交換会 について	【4日】 議会 全員協議会 ·進捗状況報告	
12	・説明会資料の再検討 【17 日】			【11 日】	【15 日】
月	・町立幼稚園の今後のあり方にかかる 意見交換会の開催案内 送付			議会 教育民生常任 委員会 ・町立幼稚園の今後の あり方にかか 見交換会の開催に ついて 【24日】 定例教育委員会 ・町立幼稚園の今後の あり方にかか 見交換の開催に ついて	・町立幼稚園の今後の あり方にかかる意 見交換会の開催に ついて報告 【16日】 ・町立幼稚園の今後の あり方にかかる意 見交換会の開催に ついて 報告
1 月	【5日】 ・町立幼稚園の今後のあり方にかかる意見交換会の開催について ・資料、アンケート内容等についての検討・協議 ・今後のスケジュールについて 【15日】 ・「町立幼稚園の今後のあり方にかかる意見交換会」事前打ち合わせ 【19日・21日】 ・「町立幼稚園の今後のあり方にかかる意見交換会」開催	【14日】 ・町立幼稚園の今後のあり方にかかる 意見交換会の開催について事前打 ち合わせ  【26日】 ・意見交換会実施のまとめについて ・アンケート実施について ・今後の流れの見通しについて	【14 日】 ・「町立幼稚園の今後 のあり方にかかる 意見交換会」の開催 について内容説明・ 報告 【27 日】 ・「町立幼稚園の今後 のあり方にかかる 意見交換会」の結果 報告 について	【19日・21日】 議会議員・教育委員 ・「町立幼稚園の今後 のあり方にかかる 意見交換会」参加 【28日】 議会 教育民生常任 委員会 ・町立幼稚園の今後の あり方にかかる意 見交換いて 【29日】 定例教句雑園の今後の たについて 【29日】 定例教句稚園の今後の あり方にかかま果報 告について 【29日】 定例教句稚園の今後の あり方にかがま果報	【19日・21日】 幼稚園 ・「町立幼稚園の今後 のあり方にかかる 意見交換会」参加
2 月	【1日】 ・アンケート実施について ・今後の流れと業務内容の確認 【5日~15日】 ・「認定こども園移行に向けたアンケート」実施 【17日】 ・「認定こども園移行に向けたアンケート」の結果報告について	【2日】 ・アンケート実施について ・今後の流れと業務内容の確認 ・「竜王町立竜王認定こども園」開園に向けての10の基本方針(案)について 【17日】 ・「認定こども園移行に向けたアンケート」の結果報告について 【26日】 ・認定こども園への移行基本計画について	【19 日】 「認定こども園移行 に向けたアンケート」 の結果報告について	告について 【10日】 民生委員児童委員協議会会長(小林氏)懇談・「町立幼稚園の今後の意見をもアンでのでは、15日】 子ども王町立も間では、15日】子でもままでは、15日】子が、15日】子が、15日	【5日】 幼稚園 ・「町立幼稚園の今後 のあり方にかかる 意見交換ついて ・アンケート実施について ・移行にかかるして ・移行にかかるしての 取組について 【12日】 竜王西幼稚園運営協議の今後 のありた要しますが、認定 こともアンケート」に ついて意見交流

				I .	·
				告について意見交	
				流	竜王幼稚園運営協議
				【18 日】	会
				議会議員との懇談	・これからの幼稚園教
				【22 日】	育のあり方につい
				定例教育委員会	て
				「認定こども園移行	【26 日】
				に向けたアンケー	竜王西幼稚園運営協
				<b>F</b> J	議会
				結果報告について	・これからの幼稚園教
				議会 教育民生常任	育のあり方につい
				委員会	て
				「認定こども園移行	
				に向けたアンケー	
				<b>F</b> J	
			=	結果報告について	
				【25 日】	
				議会議員との懇談	
3	[2 日]	[3 日]	[5日]	【10日】	
月	・認定こども関への移行基本計画につ	・認定こども関への移行基本計画につ	・認定こども園への移	議会 教育民生常任	
	いて	いて	行基本計画について	委員会	
	[8 日]	【15 日】	1722 1 11/24	「認定こども園 移	
	・今後のスケジュール調整について	・認定こども園への移行基本計画につ		行基本計画(案)」につ	
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	いて		いて	
		,		【17 日】	
				定例教育委員会	
				「認定こども園 移	
				行基本計画(案)」につ	
				いて(議決)	
				【18日~26日】	
				自治会(区)長	
	-			「認定こども園 移	
				行基本計画(案)」につ	
				いて意見聴取	
	【30 日】				
	・政策調整会議				
	「町立幼稚園の認定こども園への移行」	<b>軟備について</b>			
	一門立の作圏の応比しても圏への移行	歴 加 に つ か・			

### 令和3年4月2日

政策推進会議「町立幼稚園の認定こども園への移行整備について」 開催

「認定こども園 移行基本計画」 町として決定